

5年生と地域の方とのグループワーク



10月28日、前中瀬中学校校長・香西雅斗先生を講師にお招きし、学校運営協議会委員に加え、学校支援本部・保護者・学校支援課からも協力をいただき、18のグループに分かれて地域の大人とのグループワーク（意見交換）を行いました。事前アンケートから「筆箱のルールを考えよう～5年生みんなで八成小をつくり理想の姿になるために～」をテーマに、お互いの考えを伝え合う経験ができました。来年度は最高学年として、八成小をリードする思いをもち、地域の大人と相談できる関係をゴールとしました。以下子供たちの感想です。

地域の人たちの話を聞けて仲良くなれてよかった。これからは学校のルールを決めていきたいと思った。

他の人に自分の意見を言えて、すっきりした。やっぱり自分と同じ考えがある人はいるんだな。

みんなの意見を聞きながら自分の意見を言うことで、話し合いの力が良くなったと思った。いろんなことを感じて楽しかった。

メンバーの話を聞いてみると「たしかにそうかも」などとも思った。まずは話を聞いてみるといいなと思った。

グループで話し合ってみながら納得することは難しいけど、お互いの意見を認め合いルールを決めたい。

みんなが協力し、理想に近づけることが大切だと思った。全員で同じところに向かうことが大事なことであった。

こうやって問題をみんなで相談して決めて、もっといい八成小学校にしていきたいと思った。楽しかった。

ふだんあまり話さない友達といろいろと話し合えてよかった。みんなで話し合うことでより良い学校が作れるんだと思った。

自分の思い通りにしたい学校ではなくて、みんなが困らないようにできることが良いなと思った。

人と自分の考えは違っていて、私はこう考えたけどあなたはこう考えたなど、新しい気づきがたくさんあった。

八成小学校のルールは先生たちだけが決めるものだと思っていた。話し合いをしたら、自分たちで八成小学校をリードしていこうという気持ちになった。

ルールさえ決めれば良いと思っていたけど、違うんだなと思った。これからは八成小の5年生として誇れる行動をしたい。



子供たちが自分たちや八成小学校をよりよくしていこうと考え、行動する力を伸ばします。



杉並区立八成小学校
学校運営協議会

だより

八成小の取組を紹介します！



6年生の意見を伝えた、井草地区公園リニューアル計画



4年生の学びを3年生へ、学区の安全マップ発表会



みんなで楽しい学校生活をつくるため話し合う学級会



中瀬中生徒と八成小代表委員の、合同あいさつ運動

地域にねざし、仲間とともに
学びを伝える 未来をつくる

会長挨拶

鈴木 友美

今年度、八成小学校学校運営協議会会長となりました鈴木友美です。学校運営協議会の計画で、昨年に引き続き、2回の合同研修会が行われました。初めは緊張した中での話し合いでしたが、進むにつれて緊張がほぐれて、お互いの意見を交わしながら深まっていきました。先生方の悩みを聞きあったり、アイデアに感心したりと、盛り上がりしました。5年生も徐々に自分の思いを言ったり、友達の考えについて意見を言ったり、打ち解けてきました。表情も豊かになり、声もはっきりと聞こえました。合同研修会を通して育つ地域と学校のつながりが、大きな成果を得るきっかけとなります。来年も継続して合同研修会を計画していきたいと思っています。

校長挨拶

淵上 裕美子

八成小学校の子供たちは、素直で優しさがあり、好きなことや興味のあることを楽しみ夢のある子供が多いです。それは、校庭の自然環境や地域の人たちの温かさで育まれてきた、八成の伝統だと感じています。子供たちがつながりを大切にし、自分たちの学びを伝え、自分たちでよりよい未来をつくるという理想をもって育つことを願います。学校運営協議会は、委員の方々と教員が教育の当事者として学校の方向性を示す大切な機関です。子供たちを中心として、これからも地域と学校が共に考え協力し合っていきます。

学校運営協議会の主な役割

教職員任用に関して、教育委員会に意見を述べる
ことができる

学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる
ことができる

校長が作成する学校運営の
基本方針を承認する

学校に必要な支援について
協議する

杉並区教育委員会

- 協議会の設置
- 委員の任命
- 協議会の適正な運営を確保する措置

委員の任命

委員：校長、保護者、地域住民、
学校・地域コーディネーター など

協議結果の
情報共有

保護者
地域住民
学校支援本部 等

学校運営に関する
意見

教職員の任用に
関する意見

委員

委員

意見

情報提供・協議を踏まえた
地域学校協働活動

学校運営・教育活動
意見

協議

学校運営・教育活動
承認

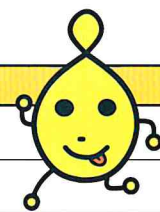
- * 学校運営基本方針を承認する
- * 学校運営・教育活動への意見ができる
- * 教職員の任用に関する意見ができる
- * 地域学校協働活動の方針を協議する
- * 保護者・地域住民・教職員へ情報を提供する

東京都教育委員会

- 教職員の任用
(学校運営協議会の意見を尊重)

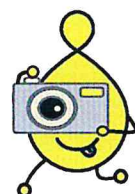
学校運営協議会の活動

回	開催月	協議事項
1	4月	● 協議会組織、運営計画について ● 学校経営計画について
2	5月	● 学校運営について(参観を含む)
3	7月	● 1,2学期の学校経営について ● 教員とCSの合同研修会の開催
4	9月	● 教育人事に関する意見書について ● 学力調査の結果について ● 70周年の計画
5	10月	● 5年生とCS・地域の意見交換会 ● 体力調査の結果について
6	12月	● 学校運営について(授業参観を含む)
7	2月	● 教育評価(関係者評価)について ● 次年度の教育課程について
8	3月	● 学校運営について(授業参観を含む) ● 次年度の教育課程について ● 次年度のCS計画について



八成小学校運営協議会のメンバー

元公立小学校校長、大学教授、同窓会長、
学校支援本部、元PTA会長、保護者、
卒業生等から構成されています。



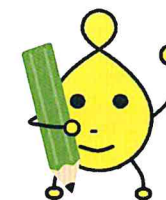
学校運営協議会委員と教員の合同研修会

7月22日、前中瀬中学校校長・香西雅斗先生を講師にお招きし、「八成の子どもたちが未来を切り拓く人になるために」をテーマに、グループで意見交換しました。自分ごととしてどうしていくかの考えをもち、地域と学校が互いに協力できる「パートナー」となることを、ゴールとしました。



学校運営協議会委員の感想

- 「楽」しむことが人生を豊かにする。その豊かさを、学校の中で子供と共有できる幸せを感じること、それは「楽(らく)」をすることと同義ではないかもしれないが、今の教員の職場環境を考えると、あながち無関係とはいえない。
- 仕事を楽しくすればよいとはその通り。問題は一人ではできないこと、ルールが増えすぎて皆が思ってもできないことが、今の学校は多いのではないかと。自分で考え、楽しくできる学校になってほしい。それが子供に伝わるとよい。自由を得るためには勉強し、新しいことにチャレンジが必要。
- 日々一生懸命でありたい。そうすれば後悔は少ないはず。子供に対して最近思うのは、もっと経験を大事にしたい。子供が子供でいられる時間は少ない。したいことをしたいときにできるように子供に向き合う。
- 面倒くさいとかコスパ悪いという感情や意見に自分なりにどのように向き合うのか、仮にコスパを求めて楽になったとして、その余ったエネルギーをどのように生かすのか。意見交流ってやっぱり楽しい。



教員の感想

- 子供たちや次の新社会人になる人たちに持ってほしいのは、「どんな環境にあってもそこにある価値や自分のためになることを楽しんで見つけられる力」。それがあれば自然と「未来を切り拓く人」につながっていくのかなと思った。
- 自分のやりたいこと、好きなことを仕事とすることの楽しさとともに、難しさや厳しさもあることを知っている身として、「仕事」「生きる」ということをどう考えていくのか、それに対して一人一人が正面から立ち向かっていく力を付けなければいけない。
- 授業の準備は楽しいが、それ以外にやらなければいけないことが山積みになるから、授業準備が楽しくなくなるのではないかとモヤモヤしている。やりがいを感じるのが直接子供に還元されることなので。
- グループでは各々の意見や価値観があり自分もそうなりたと思うようなグループワークになった。時間を効率的に使って暇をつくり、そこを充実させた方がよいと考えていたが、働く中にもやりがいや楽しさを見つけていきたいと考えることができた。